

## 【樹木の部屋】

ソヨゴ(モチノキ科モチノキ属 *Ilex pedunculosa* )

**和名**：ソヨゴ **別名**：冬青、フクラシバ、ふくらし **英名**：

ニシキギ目 常緑広葉樹・小高木 **原産地**：日本 中国 台湾

**花言葉**：先見の明 **花の色**：白



← 写真-1 ソヨゴの樹姿

撮影日：2014年02月06日

撮影場所：飛騨民族村(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ソヨゴの樹姿

撮影日：2014年02月06日

撮影場所：飛騨民族村

(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ソヨゴの葉・実

撮影日：2014年02月06日

撮影場所：飛騨民族村

(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん

飛騨高山(岐阜県高山市)郊外にある、飛騨民族村を訪れた際、村内で見かけました。雪景色

のなかでの観賞は初めてです。雪景色の中で、映えていました。

葉縁は滑らかで、波打つのが特徴。葉の構造は比較的丈夫で、炎等で加熱すると内部で気化した水蒸気が漏出することができず、葉が膨らみ、音をたてて破裂する。このことが別名の「ふくらし」の語源になっているそうです。

また、波状の葉が風に吹かれて擦れ合うときに特徴的な音を出すことから「そよご」の語源となったそうです。

葉にタンニンが含まれていて、染料に利用されているそうだし。根系は直根が無く、ほとんどの根が地表直下を横走して、地上部の支持力が低いため大きく生長すると次第に傾き、台風などによっても倒伏しやすい樹木です。